

# 令和4年度 マンション管理士試験解答速報 【12/6版】

問1	3	問11	4	問21	2	問31	4	問41	1
問2	2	問12	3	問22	4	問32	1	問42	4
問3	3	問13	1	問23	3	問33	3	問43	2
問4	解なし	問14	3	問24	2	問34	2	問44	3
問5	4	問15	1	問25	2	問35	4	問45	3
問6	3	問16	4	問26	4	問36	2	問46	2
問7	4	問17	2	問27	3	問37	3	問47	2
問8	3	問18	4	問28	2	問38	3	問48	2
問9	3	問19	3	問29	2	問39	2	問49	4
問10	2	問20	1	問30	4	問40	3	問50	2

※後日情報を更新する場合もございます。あらかじめご了承ください。

※この解答速報の著作権はTAC (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

※TACの予想合格ラインは38±1点です。あくまでもTAC独自の予想であり、合格を保証するものではありません。本予想ラインは変更の可能性もございます。あらかじめご了承ください。

## TAC マンション管理士講座

# 令和4年度マンション管理士試験講評

## (本試験所感)

全体的な難易度は、昨年度より多少解答しやすい問題が出題されたと思われる。

問題形式では、個数問題が1問増え9問出題され、昨年出題されなかった組合せ問題が1問出題された。

昨年1問出題された会計は、例年のように2問出題された。また、標準管理規約複合型は団地との複合で出題された。

今年も、全体的に過去問論点をしっかり見ておけば、正解しやすい問題が目立った。

## (民法・区分)

出題形式としては、個数問題は、昨年から2問増え、区分所有法で4問出題された。しかし、内容的には、問4のように判断に迷う問題はあったものの、全体としては、民法、区分所有法とも昨年よりはやさしかったと思われる。民法は、意思表示、弁済、各種契約で、改正点が出題された。相続に関する出題は、遺産分割と認知に関する知識や最新判例についての知識が問われ、注意を要する問題であった。区分所有法は、条文の正確な知識を要する問題がほとんどであった。標準管理規約との複合問題はなかったが、不動産登記法との複合問題が出題された。昨年と同様に被災区分所有法と建替え等円滑化法が1問ずつ出題された。

## (規約・会計)

標準管理規約は全体として基本的であったが、改正点のWEB会議システムが出題され、団地型が1問、団地型と複合用途型の融合問題が1問出題されたことが特徴である。また、会計は2問出題され、いずれも会計担当理事の説明という形をとっているが、過去問で対応できるため解きやすかったと思われる。

## (維持・保全)

設備系法令等は過去問で対応できる問題がほとんどで、昨年度よりも得点できたのではないかと思われる。また、昨年度は個数問題が1問出題されたが、本年度は出題されなかった。重要な過去問をどれだけ正確に覚えられたかで、合否を分けたと思われる。

## (適正化法)

個数問題は、昨年より1問減り3問占めていたが、組合わせ問題が1問出題された。解答が出しにくい問題も含まれていたため、昨年より難しかったと思われる。

今年は、改正論点を中心に出题されていた。